



幼児教育センターだより

No.2

富山県教育委員会 教育みらい室 小中学校課
富山県幼児教育センター

園内研修の充実と幼保小接続促進のポイント



- ① 見る 子どもの遊び・行動を、先入観をもたずに客観的に観察すること
- ② 捉える 客観的事実に意味付けをし、子どもの内面や育ちを読み取ること
- ③ 言語化する 見たこと、捉えたことを他者と共有できる具体的な言葉にすること
- ④ 分かりやすく伝える 資質・能力や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」と関連付けながら、相手に伝わる形で説明すること

○園内研修では、見たことや捉えたことを言語化することで、保育者の援助の意図や価値が明らかになります。そして、他者へ分かりやすく伝えることで、別の場面でも「やってみよう」と、翌日からの援助につながっていきます。



10の姿
(文部科学省)

○幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を幼児教育施設と小学校で共有することが接続の第一歩となります。10の姿を手掛かりに、子どもの姿を起点にして、幼児期の遊びを通した学びが、各教科の学習につながるよう話し合ってみましょう。

幼児教育接続スーパーバイザーと幼児教育接続アドバイザーの紹介

本年度は、3名のスーパーバイザーと3名のアドバイザーの先生方が、県内の幼児教育の質の向上のために講演、助言を行います。



波岡 AD 老田 AD 小島 AD
南 SV 新夕 SV 高岡 SV

本年度から、新たに南スーパーバイザーと高岡スーパーバイザーが就任しました。よろしくお願いいたします。



〈6月の主な予定〉

- 10日(水) 第3回新規採用教員研修会 (会場：福岡ひばり園)
12日(金) 園長等運営管理協議会
講師：鳴門教育大学教職大学院
教授 佐々木 晃 氏
23日(火) 非認知能力育成に関する幼保小接続研修会
講師：白梅学園大学 名誉教授 無藤 隆 氏